報道発表資料
平成12年３月28日
気　　象　　庁

有珠山の火山活動について

有珠山において３月27日から地震活動が活発化していることから、本日火山噴火予知連絡会拡大幹事会を気象庁で開催し、次の見解を発表した。

有珠山では、３月27日昼頃から地震が次第に増加し、地震の振幅も次第に大きくなっており、本日(28日)に入ってからは、山麓で有感となる地震も発生している。震源は北西山腹の深さ３～４kmと推定される。噴気活動はいまのところ変化は見られない。

今回のように活発な地震活動は、前回の昭和52－53年(1977－78年)の噴火活動期以降では初めてである。有珠山の最近400年の活動では、地震活動が次第に活発化した後、１日ないし数日の間に噴火した例が多い。

以上のことから、今後噴火が発生する可能性があり、火山活動に警戒が必要である。

報道発表資料
平成12年３月29日
気　　象　　庁

有珠山の火山活動について

有珠山の火山活動について、本日、火山噴火予知連絡会拡大幹事会を気象庁で開催し、次の見解を発表した。

有珠山の地震活動が、急速に活発化している。昨日28日、横這い状態であった地震回数は、本日29日に入り時間を追って増加している。現地有感と思われる振幅の大きな地震も昨日は1時間数回であったが、本日に入り１時間に15回程度に増加している。これまでに発生した地震の最大は、29日９時42分のM3.5(暫定)であった。低周波地震も増加傾向にあり29日７時台には７回発生するなど、28日16時頃から29日10時までに23回発生している。

地震は、引き続き北西山腹を中心に発生している。

以上のことから、今後数日以内に噴火が発生する可能性が高くなっており、火山活動に対する警戒を強める必要がある。

報道発表資料
平成12年3月31日
気　　象　　庁

有珠山の火山活動について

有珠山の火山活動について、火山噴火予知連絡会は気象庁で緊急拡大幹事会を開催し、以下のとおり見解を発表した。

有珠山は3月31日13時10分頃噴火した。噴火は有珠山の西側山麓で火口列を形成し発生した。噴火は水蒸気爆発と思われる。噴煙の高さは最高で3200メートルに達し東に流れた。

有珠山では、3月27日から地震が次第に増加し、28日からは地震の規模が大きくなり山麓で有感となる地震および低周波地震も発生したが、30日の午後からはやや減少傾向にあった。

29日からはGPS観測により地殻変動が観測され、30日には地割れ等が確認された。

今後も噴火活動が続くと考えられ、噴火場所の移動の可能性もある。

今後の火山活動に厳重な警戒が必要である。

平成12年4月2日
火山噴火予知連絡会有珠山部会

火山噴火予知連絡会有珠山部会見解

有珠山では、3月27日からの一連の地震活動、地殻変動の後、北西山麓で3月31日に噴火が始まった。現在のところ、水蒸気爆発～弱いマグマ水蒸気爆発が断続的に続いている。噴火地点は北西山麓の一部に限定されている。この噴火活動の様式は、1910年の噴火の初期の活動に似ている。当面は、この領域で今までのような噴火活動が継続すると考えられる。

本格的な軽石噴火の可能性は、依然残されており、観測を強化し、総合的に今後の推移を注意深く見守る必要がある。

今後も火山活動に警戒が必要である。